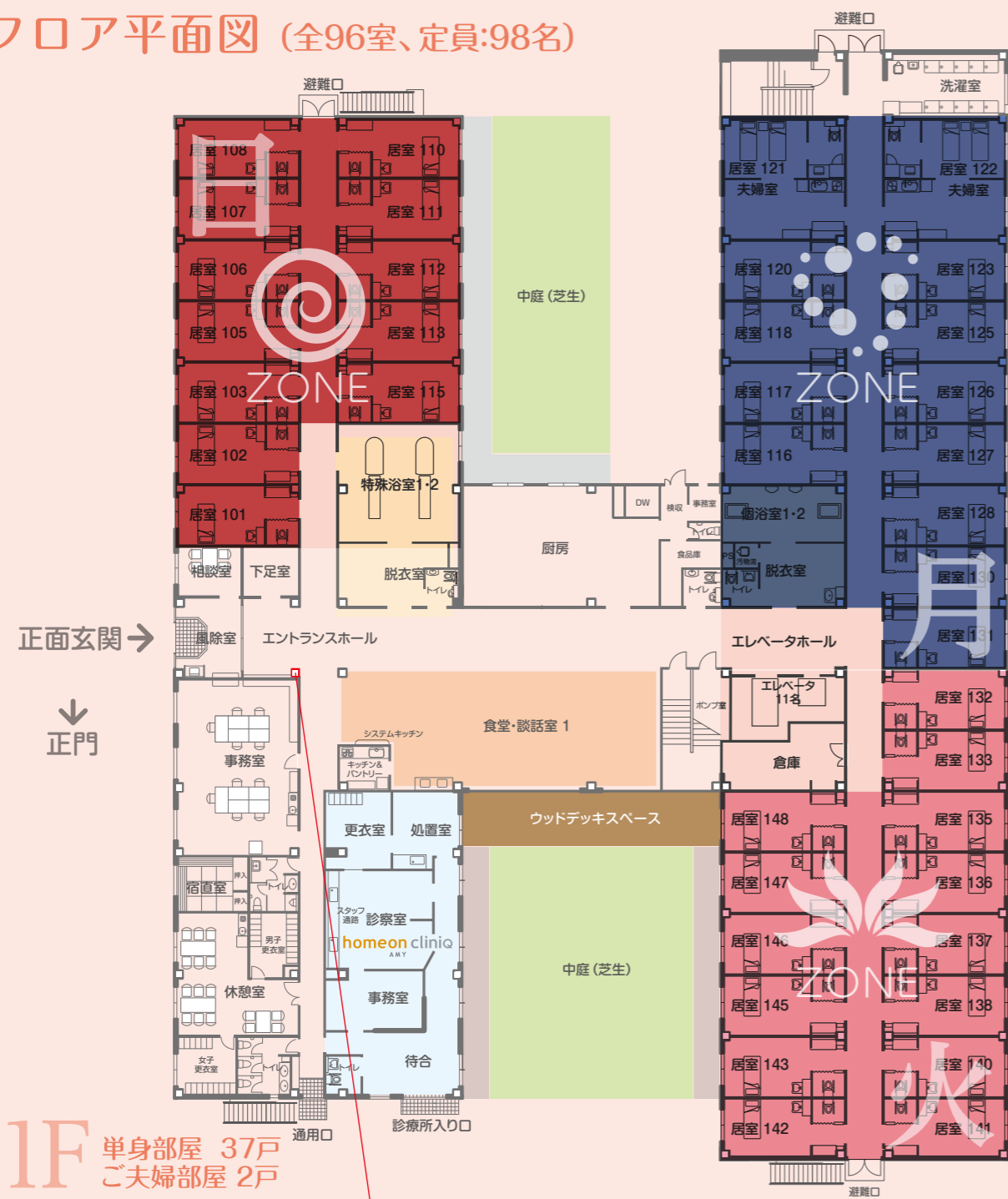


フロア平面図 (全96室、定員:98名)



入口に入るとすぐ右手の柱に**”Si vis amari, ama.”**という見慣れない言葉が掲示してあります。ラテン語で「シー・ウィース・アマーリー・アマー」と読みます。邦訳すると「もしあなたが愛されることを望むなら、あなたが愛しなさい」という意味になります。

古代ローマの詩人セネカの言葉です。この言葉は、私たちの行動指針です。

この指針に基づいて「グランヒルズ阿見」はスタッフのみなさまにとっては働き易く、ご利用者にとって住み易い環境がデザインされています。併設の「ホームオン・クリニック」の院長平野国美氏のコンセプトが随所に生かされたデザインでもあります。デザイン監修はUDA(<http://www.uda.co.jp/>)の山口勝之先生、グラフィックデザインは新進気鋭のデザイナーSORAMAMAさんが担当しました。御覧の通り、施設をご利用する方もお世話をするスタッフも皆「家族」として明るく楽しく生活できる環境デザインになりました。

私たちはここに住まわれるご利用者の皆さんを、「老人」という画一的な呼び方をしたくはありません。

長い人生を歩んでこられた人生の先輩であり、個性ある人たちです。そんな多様な個性を多彩な色に例えています。パステルカラーの明るい外観は、「元気な住まい」であることを表現すると共に、近隣の人たちにも親しんでもらえる施設でありたい、開放的な施設でありたいという思いを込めました。

中の住まいは96室ありますが、それぞれの住まいには皆さんの個別の生活があります。

小さくとも個人の生活の場である居室は1室ずつ別々の顔を持っていただきたい、そんな思いからドアの色を変え、入口を自由に飾れる飾り棚を設けました。建物はH形の配置になっており、中央の共用スペースを挟んで、住まいは1階から2階まで7つのゾーンで構成されます。7つのゾーンの呼称に日～土の7つの曜日を充てました。その曜日のメタファー色を各ゾーンのテーマカラーとしています。

「グランヒルズ阿見」ワールドをゆっくりとご堪能ください。

グランヒルズ阿見スタッフ一同